

第8回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会
(第19回基盤整備推進部会・第17回まちづくり推進部会) 主なご意見等

開催日時：令和元年10月24日（木）15:00～17:00

開催場所：大宮区役所 6階 601・602会議室

出席者：

選出区分	役職等（敬称略）
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 教授 窪田 亜矢
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 経営企画本部 部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部 部長
交通事業者	西武バス 運輸計画部 計画課長（代理）
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 会長
地元まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 課長補佐（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部 次長（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	埼玉県 産業労働部観光課 主査
オブザーバー	都市再生機構 東日本都市再生本部 事業企画部 担当部長

■まちづくりガイドラインの検討状況について 【⇒事務局からの回答】

- ・デザイン調整ワーキングでは、現時点で検討している内容をもとに作成した VR をみた。建物の高さや広場の大きさを変えながら、今後関係者間の認識のずれを解消していかなければならない。
 - ・地域貢献項目の内容と方策等が連動することが重要である。先進技術の実験場や大宮の強みである界限性を担保するものを地域貢献項目に入れるべきではないか。
- ⇒方策については、今回はたたき台となる項目のみをご提示した。官がやること、民がやること、官と民が一緒にやることといった内容も考慮し、今後地区の皆様と協議をしながら、地域貢献要素にも紐づけながら整理していきたい。
- ・地域貢献項目として、さいたま市ではスポーツの総合計画等も掲げている。そういった話も必要ではないか。
 - ・景観に関して、地区計画や景観地区のようなものでしっかりとコントロールしていくことを明記すべきではないかと思う。
 - ・エリアマネジメントについては、あたかも新しくつくるという内容のようにも受け取れるが、既存の商店街も1つのエリアマネジメントと考えられる。既存の商店街との関係は丁寧に説明したほうがよい。

■個別整備計画について

- ・「タクシープールの地上部配置を含め検討」とあるが、元々地下への配置から議論が始まっているので、地上部配置はないと思っている。まち全体をもっとオープンにキレイにするため、地下に入れたほうがよいという案であった。
- ⇒駅前広場は将来的な可変性を持たせたい。地下にタクシープールを配置すると地下への入口等によって将来的なレイアウト変更が困難ではないかという考えで整理している。今回から地上配置へ変更するのではなく、新たな検討の1つとして検討させていただけないかというご提案である。
- ・タクシープールに関しては、今までやや拙速に地下配置を前提として議論してきたが、議論を戻し、地上配置と地下配置両方で考え、最後に大宮の将来にとって何がよいのか、検討を重ねていくべきかと思う。
 - ・旧大宮区役所跡地にタクシーとバスを入れ、駅前には車を置かないのであれば、タクシープールの地下配置をやめることも考えられる。
- ⇒GCS プラン骨子案の中では、工事期間中に駅前広場機能を旧大宮区役所跡地等に移す前提で事業展開を考えている。旧大宮区役所跡地等の公共用地に部分的または全体的に交通機能を入れるという検討も、タクシープールの地下配置、地上配置の検

討と併せて進めていきたい。

- ・ 構想実現案の区域設定は、駅側に寄せて中地区との重複区域を小さくする案についてもあり得ると理解した。検討していきたい。
 - ・ 南地区としては、南地区の公共貢献を加味した構想実現案第1案の派生案を早急に作成して提案したい。
 - ・ 交通機能を駅前広場以外の場所で確保する案を検討することは非常にありがたい。我々は駅前広場整備ではなくまちづくりをしている。乗り換えだけではなく、あえてまちに降りてもらおうということもあると思う。
 - ・ この構想実現案に賛同したように受け取られては困る。これはあくまでも行政が提示したものであって、決定ではなく変更の余地があり、我々の意見はまだ反映されていないという理解でよいか。
- ⇒市が提示する案に対して、まだ納得いただけていない地区があり、対案の意見もあると理解しているので、そのとおりでよい。

- ・ 中山道の地下バイパス化と大宮岩槻線の4車化について、より現実的な中央通りの4車線化のほうが、実現性は高いし効果もあると思う。
- ・ インフラの整備のタイミングや物流の考えは非常に重要。フリンジ駐車場の議論とともに、共同荷捌き施設等も考えられるのではないか。
- ・ 開発街区の容積率の想定に関しては、まずは交通にとって安全側（厳しい条件）である全街区 1,000%をベースにシミュレーションを行い、結果を見て協議を行っていくことでよい。

- ・ これまで議論を積み上げていく過程で、全員が一致する案はないため、どうしても採用できない意見があり、それについてまだ納得されていない方がいるという事が確認できた。推進会議や合同部会とは別に、皆さんが思っていること、思いの丈を話す場を設置してはどうか。

⇒本日は様々のご意見をいただいた。皆さんが本音で話せる場を市でも検討し、今後、日程等調整させていただきたい。

- ・ 駅改良計画に関しては、案①をもとに検討を具体化するということを確認した。構想実現案に関しては、第1案をもとに検討を具体化するということを推進会議で市から提示するが、まだ納得いただけていない地区があり、対案の意見もあるといった内容を含めて報告することによろしいかと思う。

以上